

市役所玄関に門松  
市勢発展願い贈る  
魚津市シルバー人材  
センターは26日、市役所の正面  
玄関に門松を贈り、新年の  
市勢発展を願った。  
宮野高司理事長と職員、  
会員らがトラックで1対を  
運び、「来年も幸せな年に

宮野理事長(右)にお礼を述べる  
村椿市長 —魚津市役所玄関



なりますよう  
に」と玄関に設  
置した。村椿  
市長がお礼を述  
べ、作り方の説  
明を受けた。  
門松は高さ約  
1.8m。赤と  
白い実の両ナン  
テン、葉ボタン  
やクマザサ、松  
竹梅が新春気分  
を醸す。注文の品6対を  
含め、会員が今月上旬から  
手作りした。



魚津市シルバー人材センター 市役所に門松飾る

贈呈は30年、門松の  
なかつた市役所を彩り、多く  
の市民に正月気分を味わわ  
せてもらおうと魚津市シルバー  
人材センターが行ったのがき  
っかけ。以来、毎年実施しお  
り今年6回目となる。  
会員が12月1日、2日から市  
庁舎を調査し、目かくし門  
松を組み上げた。高さ1.8  
mでプラスチック製の鉢植え  
に砂を敷き詰め、ナンテンや  
クマザサ、カイカイフキ、  
ハボタンで飾り付けた。3本  
のタケに加え、冬の寒さに強  
いためぐと合わせて「歳暮  
の三友」と呼ばれるウメやマ  
ツも植え、めでたい作りにな  
っている。  
贈呈式には宮野理事長や村  
椿市長、会員、市職員ら約  
10人が参加した。会員がトラ  
ックの荷台から門松を降ろし  
市役所の正面玄関に設置さ  
ると、村椿市長は料などを聞  
いて「大きくて立派だと感  
んだ。高野理事長は「来年は  
魚津で植樹祭が開かれるので  
1年1年になりますように」と  
願いを込めた。

いい一年へ願い込め

魚津市シルバー人材センター(宮野高司理事長)は26日、会員が手作りした門松1対を市役所に贈った。市役所の正面玄関に来年1月7日まで飾られる。



瀬戸一稀君(6)は「釣りざおの  
ように長く伸ばせた」と笑顔を見  
せた。

阿尾保育園児、玉すだれ  
水見「ゆい」が体験教室  
水見市シルバー人材センターの  
ボランティアアサケル「ゆい」は  
26日、同市阿尾保育園を訪れ、園  
児26人に「越中万葉玉すだれ」を  
披露し、体験教室も開いて交流し  
た。写真。  
ゆいのメンバー8人は、歌に合  
わせて玉すだれを操り、大伴家持  
の本、合掌造りなどに変化させる  
芸を披露した。この後、園児も、  
玉すだれを伸ばしながら、しだれ  
柳や阿弥陀如来の後光を作る体験  
をした。

玉すだれ操り笑顔

阿尾保育園 ボランティア「ゆい」交流会

水見市シルバー人材  
センターの会員でつく  
るボランティアアサケル「ゆ  
い」(西田壽美子代表)は26  
日、同市の阿尾保育園で交流  
会を開き、園児約25人に「越  
中万葉玉すだれ」を披露した。  
メンバー8人が訪問。音楽  
に合わせて玉すだれを操り、  
釣りざおや船の帆などの形に  
見立てて楽しませた。園児が  
体験する場面もあり、教わっ  
て大きな笑顔がこぼれ、喜ん  
で喜んでいった。



メンバーに玉すだれの使い方を教わる園児

運び出される門松  
—滑川市シルバー人材センター



孟宗竹「笑顔」で並ぶ  
滑川市シルバー人材センター  
門松の配達始まる

滑川市シルバー人材セン  
ターで26日、門松の配達が始  
まった。27日までに48基  
を市内の企業や公共施設に  
設置する。  
高さが1.7m前後にそ  
ろい、松竹梅や葉ボタン、ナ  
ンテン、クマザサなどが飾  
られた。孟宗竹の頂上部は、  
人の笑顔に見えるように切  
断されている。人材センタ  
ー理事の松井貞義さん(83)  
ら4人が、8日から手作り  
してきた。初日はトラック  
で20個を12カ所に届け、設  
置した。松井さんは材料は  
全て滑川産を使っている。  
幸せな新年となる願いを込  
めて仕上げたと話した。